

## 平成23年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アクシーズ

コード番号 1381 URL <http://www.axyz-grp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐々倉 豊

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長

(氏名) 伊地知 高正

TEL 099-223-7385

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年6月期第1四半期の連結業績(平成22年7月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第1四半期	3,571	0.6	37	△58.0	71	△46.2	45	△49.9
22年6月期第1四半期	3,551	3.1	88	△50.8	133	△37.1	91	△30.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第1四半期	8.17	—
22年6月期第1四半期	16.32	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年6月期第1四半期	8,145	5,413	66.5	963.93
22年6月期	8,261	5,438	65.8	968.35

(参考) 自己資本 23年6月期第1四半期 5,413百万円 22年6月期 5,438百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年6月期	—	0.00	—	12.50	12.50
23年6月期	—				
23年6月期(予想)		0.00	—	12.50	12.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年6月期の連結業績予想(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,674	1.8	345	11.4	405	9.3	243	5.1	43.33
通期	15,239	3.3	487	7.5	563	6.4	338	△11.8	60.22

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
新規 ー社（社名 ）、除外 ー社（社名 ）、  
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有  
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)  
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年6月期1Q 5,617,500株 22年6月期 5,617,500株  
② 期末自己株式数 23年6月期1Q 1,440株 22年6月期 1,365株  
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年6月期1Q 5,616,060株 22年6月期1Q 5,616,135株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(5) セグメント情報 .....	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### （1）連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、アジア新興国の経済成長を背景に輸出の伸び等から一部では景気回復の兆しが見られるものの、雇用情勢や所得環境は依然として厳しく個人消費は低調なまま推移し、さらには、欧州の金融不安や米国経済の減速懸念、急激な円高の進行など、景気の先行きに不透明感が強まりました。

このような中で、鶏肉業界におきましては、もも肉相場が下落しむね肉相場の上昇しており、需要が単価の安いものへシフトしている状況が続き、国内鶏肉相場（荷受市場でのもも肉とむね肉相場の単純合算金額）は、前年同期に比べ軟調に推移いたしました。

このような状況下で、グループ全体でコストの見直しを行ない一定の成果が見えつつあるものの、要員の適正配置や生産性の向上等に向けた改善を継続的に行うことにより、業績向上に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は35億71百万円（前年同四半期比0.6%増）と増収となり、営業利益37百万円（同58.0%減）、経常利益71百万円（同46.2%減）となり、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を特別損失として19百万円計上したこと等により、四半期純利益は45百万円（同49.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①鶏肉関連

当社製品「薩摩ハーブ悠然どり」は、その品質優位性から食の安全・安心を求める消費者ニーズと合致していることもあり販売数量は増加したものの、国内鶏肉相場の下落幅を補完しきれず、売上高は27億86百万円となりました。

また、前期中に予定していた当社内で最大級の肥育農場の稼動が当四半期にずれ込んだことによる初期投資コストの増加等により、営業損失は7百万円となりました。

#### ②外食

KFC店舗のキャンペーンが好調であったことにより、既存店及び前連結会計年度に出店した店舗の売上が好調でありました。さらに、当第1四半期に1店舗（ケンタッキーフライドチキン）を新規出店いたしました。

また、コスト削減強化により収益基盤の効率化を図った結果、売上高は7億85百万円、営業利益は43百万円となりました。

### （2）連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

##### （資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億15百万円減少し、81億45百万円となりました。これは主に、たな卸資産が96百万円増加したものの、現金及び預金92百万円や有形固定資産が86百万円減少したこと等によるものであります。

##### （負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ90百万円減少し、27億31百万円となりました。これは主に、未払金が95百万円減少したこと等によるものであります。

##### （純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ24百万円減少し、54億13百万円となりました。これは主に、利益剰余金が24百万円減少したこと等によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は4億38百万円となり、前連結会計年度末と比較して92百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、68百万円の資金増加（前年同期は71百万円の資金増加）となりました。これは、たな卸資産の増加が96百万円あったものの、減価償却費81百万円や売上債権の減少が86百万円あったこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、61百万円の資金減少（前年同期は18百万円の資金増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出63百万円があったこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、99百万円の資金減少（前年同期は1億19百万円の資金減少）となりました。これは主に、配当金の支払額69百万円や長期借入金の返済による支出30百万円があったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期における業績は概ね計画通りに推移しており、平成22年8月6日に公表しました業績予想と変更はありません。

## 2. その他の情報

## (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

## 1. 簡便な会計処理

## 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度以降に経営環境及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを使用しております。

## 2. 特有の会計処理

該当事項はありません。

## (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

## 1. 会計処理基準に関する事項の変更

## 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ600千円減少し、税金等調整前四半期純利益は20,558千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は54,555千円であります。

## 2. 表示方法の変更

## 四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	964,566	1,057,299
受取手形及び売掛金	1,029,261	1,116,097
製品	175,432	182,238
仕掛品	194,084	185,136
原材料及び貯蔵品	678,207	583,380
その他	225,088	156,978
貸倒引当金	△693	△1,376
流動資産合計	3,265,947	3,279,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	451,961	431,908
工具、器具及び備品（純額）	680,896	508,419
土地	2,761,371	2,759,672
その他（純額）	38,164	319,156
有形固定資産合計	3,932,393	4,019,156
無形固定資産	69,827	71,665
投資その他の資産	877,174	890,563
固定資産合計	4,879,396	4,981,384
資産合計	8,145,343	8,261,138
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	410,619	394,741
1年内返済予定の長期借入金	101,000	106,000
未払金	777,772	873,534
未払法人税等	62,156	79,833
賞与引当金	131,184	—
その他	107,703	191,052
流動負債合計	1,590,434	1,645,163
固定負債		
社債	499,800	499,800
長期借入金	90,000	115,250
退職給付引当金	218,208	244,217
役員退職慰労引当金	88,567	96,888
その他	244,841	221,451
固定負債合計	1,141,417	1,177,608
負債合計	2,731,852	2,822,772
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	452,370	452,370
資本剰余金	428,340	428,340
利益剰余金	4,507,507	4,531,819
自己株式	△1,087	△1,034
株主資本合計	5,387,130	5,411,494
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	26,361	31,916
繰延ヘッジ損益	—	△5,044
評価・換算差額等合計	26,361	26,871
純資産合計	5,413,491	5,438,366
負債純資産合計	8,145,343	8,261,138

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	3,551,291	3,571,887
売上原価	2,485,852	2,504,181
売上総利益	1,065,438	1,067,705
販売費及び一般管理費	976,650	1,030,376
営業利益	88,787	37,329
営業外収益		
受取利息	605	1,654
受取配当金	1,282	1
持分法による投資利益	40,368	32,503
その他	6,128	6,352
営業外収益合計	48,385	40,512
営業外費用		
支払利息	3,206	2,688
為替差損	—	2,760
その他	138	453
営業外費用合計	3,344	5,902
経常利益	133,828	71,939
特別利益		
収用補償金	—	92,108
特別利益合計	—	92,108
特別損失		
固定資産除却損	—	42
固定資産圧縮損	—	85,936
減損損失	1,710	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	19,957
特別損失合計	1,710	105,936
税金等調整前四半期純利益	132,118	58,112
法人税、住民税及び事業税	75,816	63,129
法人税等調整額	△35,351	△50,907
法人税等合計	40,465	12,222
少数株主損益調整前四半期純利益	—	45,889
四半期純利益	91,653	45,889

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	132,118	58,112
減価償却費	84,862	81,265
減損損失	1,710	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	139,332	131,184
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△18,337	△26,008
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△39,339	△8,321
受取利息及び受取配当金	△1,887	△1,655
支払利息	3,206	2,688
持分法による投資損益(△は益)	△40,368	△32,503
固定資産圧縮損	—	85,936
収用補償金	—	△92,108
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	19,957
売上債権の増減額(△は増加)	△20,775	86,835
たな卸資産の増減額(△は増加)	△90,175	△96,969
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△17,260	△17,656
仕入債務の増減額(△は減少)	45,905	15,877
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△16,642	△67,988
その他	△14,600	△3,756
小計	147,746	134,887
利息及び配当金の受取額	1,832	1,655
利息の支払額	△3,140	△2,691
その他の収入	6,002	3,859
その他の支出	△138	△453
法人税等の支払額	△80,303	△68,700
営業活動によるキャッシュ・フロー	71,998	68,557
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△23,968	△63,345
無形固定資産の取得による支出	△23,541	△3,356
貸付けによる支出	△14,410	—
貸付金の回収による収入	44,650	7,850
敷金及び保証金の差入による支出	△18,170	△2,668
収用補償金の受取額	55,580	—
その他	△1,544	△418
投資活動によるキャッシュ・フロー	18,595	△61,939
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△36,500	△30,250
自己株式の取得による支出	—	△52
配当金の支払額	△82,823	△69,049
財務活動によるキャッシュ・フロー	△119,323	△99,351
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△28,728	△92,733
現金及び現金同等物の期首残高	1,151,726	531,299
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,122,997	438,566



(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

	鶏肉事業 (千円)	加工食品事業 (千円)	外食事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,612,025	268,872	649,500	20,893	3,551,291	—	3,551,291
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	82,572	—	—	2,986	85,558	(85,558)	—
計	2,694,597	268,872	649,500	23,879	3,636,849	(85,558)	3,551,291
営業利益	129,268	9,387	15,013	7,906	161,574	(72,787)	88,787

(注) 1. 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

(1) 事業区分の方法…製品の種類別区分によっております。

(2) 各区分に属する主要な製品の名称

① 鶏肉事業 …鶏肉の非加工品

② 加工食品事業…鶏肉に加熱、味付け等の加工を施した商品

③ 外食事業 …日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社のフランチャイジー経営

④ その他の事業…複合材であるシラスバルーン、土壌改良剤、飼料原料等に使用されるゼオライト及び無  
化学肥料減農薬野菜

2. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、当社の管理部門に係る費用でありま  
す。

前第1四半期連結累計期間 74,099千円

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

## 〔セグメント情報〕

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、業種別のセグメントから構成されており、「鶏肉関連」及び「外食」の2つを報告セグメントとしております。

「鶏肉関連」は主に鶏肉の非加工品や鶏肉に加熱、味付け等の加工を施した商品の製造及び販売を行っております。「外食」はケンタッキーフライドチキン店舗とピザハット店舗のFC事業を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,786,631	785,255	3,571,887	—	3,571,887
セグメント間の内部売上高又は振替高	127	—	127	△127	—
計	2,786,759	785,255	3,572,014	△127	3,571,887
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△7,063	43,487	36,424	905	37,329

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額905千円は、セグメント間取引消去905千円であります。  
2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。